

平成21年度 第5回理学部 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

さる5月19日(火) けやき会館で、第5回理学部 Science Lectureship Award 国際学術講演賞が理学部の主催で開催されました。2009年は日本とメキシコの友好400周年にあたるため、事務局国際企画課と生物学科の綿野泰行教授の企画で、メキシコ国立自治大学 (UNAM) の José Sarukhán 教授 (ホセ・サルカン教授) をお招きし、「Converting basic Biodiversity science into decision making information in Megadiverse country」というタイトルで約1時間の講演をしていただきました。当日は大変な盛況ぶりで、多くの学生と教職員、一般の方が集まり、質疑応答でも活発に発言があり、充実した内容の講演会となりました。引き続いて行われた授賞式では、Miguel Ruiz-Cabañas 駐日メキシコ大使からも祝辞を頂きました。懇親会では多くの学部学生がサルカン教授と言葉を交わし、興味を持つ専門分野や日本の文化について説明していました。サルカン教授も学生達との交流を、とても楽しんでおられました。



辻理学研究科長から賞状とメダルが贈られました



祝辞を下された Miguel Ruiz-Cabañas メキシコ大使



講演中の José Sarukhán 教授



花束贈呈



懇親会会場

左から José Sarukhán 教授、辻理学研究科長、齋藤学長



講演会・授賞式・懇親会の運営にあたった学生委員会のメンバーとの記念写真。